

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者と共に暮らす年数が長くなり、人と人との関わりの介護がマンネリ化した関わりになりやすい。	利用者自身の生き方がある。その生き方にきちんと向き合えるようになる。	利用者と職員が持てる力を出し合いながら生活している。一人の自立した共同生活者としての尊厳が含まれた言葉使いで関わる。	6ヶ月
2		社の理念にあった介護力を高める仕組みの定着が弱い。	利用者の事象に合わせた適切な介護ができるようになる。	利用者の老化・廃用に向かう事象は様々。現在事象ごとに記録をつけ関わりを学ぶことができる仕組みがあり、状態把握や関わり方は必要時に共有することは行われている。利用者にとって適切な援助がなされるよう毎日の朝礼や小会議等で利用者の状態を常にフィードバックしあう。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。